



2015年 生きもの育む田んぼの稲づくり塾

「耕さない」を基本とする南阿蘇の田んぼは、阿蘇の山々に生い茂る草木が育む空気、日量数十万トンの湧水、高原ならではの昼夜の大きな温度差など、稲づくりに最適な地の利を持っています。

そんな恵まれた環境では、比較的短期間で『生きもの育む田んぼの稲づくり』を体験でき、観察する機会が希になった田んぼのホタル、ヘイケボタルの乱舞に癒されたり、珍しくなったミズカマキリやニホンイモリなどに遭遇したり、絶滅危惧種のシャジクモなどの植物が観察できます。

生きもの育む田んぼの稲づくり塾は、岩澤信夫先生に教わった稲づくり（冬期湛水・不耕起水稻移植栽培）の理論や手法を踏襲しながらも、温暖地域ならではの気候風土に合わせて変更し、①観察（田んぼが季節を追って変化する様、力強く生長する稲、多様な田んぼの生きもの等）②体験（要所での実習）、③座学：稲の生理、生きもの育む田んぼの稲づくりの理論（稲づくり塾ノート、プレゼンテーションと参考資料を利用）、で構成されています。

“ただ単に農薬や肥料を使わないのではなく、それらに頼らない稲つりの仕組みを理解し”、“自分の目で確かめ”、“実作業を体験し”、“田んぼが生きものでいっぱいになる、環境に優しい稲づくり”を学びます。

また、各自の田んぼ環境に適した管理の計画や生きもの育む田んぼの稲づくりならではの管理手法の理解を助ける、新旧の研究成果（e.g. ミネラル、土壌微生物、イトミミズやカエルなどの小動物や植物の生態、など）も学びます。

塾入会金	2,000円（有効期間1年間）		
受講費用	一般塾生	68,000円	年間受講（with 塾修了証 ^① ）
	┆同伴 ^② 塾生	38,000円	年間受講（with 塾修了証 ^① ）
	┆同伴 ^② スポット	4,800円	1日当り（要予約、受講10日前）
	研究塾生 ^③	38,000円	年間受講（with 研究修了証 ^① ）
	研究塾生 ^③ スポット	4,800円	1日当り（要予約、受講10日前）
	一般スポット	7,000円	1日当り（要予約、受講10日前）
	通信費	1,000円	書類送付が郵送に限定される方
① [修了証]は全課程の80%以上に出席した方が対象になります。			
② [同伴]は同居する夫婦もしくは親子に限定されます。			
③ [研究塾生]は同塾の修了者で、更に探求されたい方が対象です。			
募集人数	約20名	開催期間	2015年01月～11月
実習田	南阿蘇の田んぼ	講義	はらっば・ラボ
主催と連絡先	はらっば・ラボ 入請舛 憲市(いりうけます けんいち) 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰4486-19 携帯：090-1194-0361 FAX：0967-67-3278 email：k.iriukemasu@gmail.com		

主催者のプロフィール
◇1958年：沖縄で生まれる。大学を卒業後、IT業界に20数年従事したが、断ち切れない自然への憧れから南阿蘇村に移住。
◇2008年：「自然耕塾」、「苗づくり研修会」（千葉県神崎町）修了。同塾を受講と同時に、南阿蘇で生きもの育む田んぼの稲づくりを始めて、今年で8作目。
◇2011年：「生きもの育む田んぼの稲づくり塾」を開始（5期目）。
◇2014年：酒米（山田錦）の栽培を始めて、今年で2作目。稲づくり農家としては、まだまだ駆け出しだが、田んぼで育まれる生きものの物語に魅了され、稲づくりに奮闘中。

- 注記
01. 農具や農業機械を使った作業体験などの慣れない作業が伴うため、入塾には傷害保険への加入が必須になっています。
 02. 塾開催日の集合場所やはらっば・ラボまでの交通手段の確保、交通費の負担は各自になります。電車通塾の方へは、最寄り駅（南阿蘇鉄道・阿蘇下田駅）から有料の送迎を用意しますので、ご相談ください。
 03. 大変恐縮ですが、お子様をお預かりする環境が整っていないため、お子様連れでの参加はお断りしています。
 04. 申込み手順は、「募集要項」の＜塾申込手順について＞に記載しています。
 05. 募集は申込み順に受け付けられ、定員になり次第、締め切られます。また、年間受講は途中からでも入塾可能です。
 06. 冬期湛水・不耕起移植栽培の参考図書「不耕起でよみがえる（岩澤信夫著、創森社）」、稲づくり未経験者向けの参考図書「週末の手植え稲づくり（横田不二子著、農文協）」を推奨しています。
 07. ゴミ袋等を持参の上、『来た時よりも美しく運動』への参加をお願いします。
 08. 当日の持ち物や服装として、雨天時のほ場見学や実習作業に備えてカッパやゴム長靴を予めご用意ください。
 09. 連日で日程が組まれている際の宿泊施設は紹介しますが、宿泊施設の確保と宿泊に伴う費用負担は各自になります。
 10. 「生きもの育む田んぼの稲づくり塾」の日程は、稲の生長に合わせて計画しています。気象条件により、見学ほ場や実習場所、時間や日程が変更されることがあります。特に、※印が付加された日程は稲の生長に大きく左右されるため、1～2週間、前後する可能性があります。

生きもの育む田んぼの稲づくり

2015年 生きもの育む田んぼの稲づくり塾の日程表

月日・時間	観察、見学、実習、座学、その他の予定
01月24日(土) 10:00-16:00	観察：塾で観察対象となる生きもの育む田んぼ、稲株、冬の田んぼの生きもの
	オリエンテーション：生きもの育む田んぼの稲づくり塾の目的や受講条件の確認
	座学：第1課程 総論（生きもの育む田んぼ）
01月31日(土) 10:00-16:00	実習：低温育苗ハウス、塩水選、浸種
	座学：第2課程 成苗づくり（低温育苗Ⅰ）
02月28日(土) 10:00-16:00	実習：播種作業の準備（自由参加） （作業予定時間 10:00-12:00）
	実習：コシカリの播種作業（自由参加） （作業予定時間 13:00-16:00）
03月07日(土) 10:00-16:00	観察：暖かくなった生きものを育む田んぼの変化、播種後8日目の苗
	実習：温度管理、発根状態の確認、観察記録
	座学：第3課程 成苗づくり（低温育苗Ⅱ、暖地での苗づくり）
03月21日(土) 10:00-16:00	観察：播種後22日目の苗
	実習：温度管理、発根状態の確認、観察記録
	座学：第4課程 稲の生長特性、田植えの準備
04月04日(土) 10:00-16:00	観察：生きものを育む田んぼの水生植物や生きものの変化
	見学：育苗管理（プール育苗&ハウス育苗）
	座学：第5課程：生きもの育む田んぼの栄養成分
05月02日(土)※ 10:00-16:00	観察：田植えした田んぼの様子&移植した苗
	見学：不耕起用田植機と田植え（田植えは前日までに実施済み）
	座学：第6課程 栄養生長
17:00-19:00	懇親会（自由参加） （飲食費別途）
05月03日(日)※ 10:00-16:00	実習：補植、観察用稲の手植え
	座学：第7課程 生きもの育む田んぼの機能と特異現象
06月06日(土)※ 10:00-16:00	オリエンテーション：生きもの調査の目的と調査の仕方
	実習：田んぼの生きもの調査（他のグループも参加）
	17:00-19:00
19:00-20:00	ヘイケボタルの見学会（自由参加） （他のグループも参加）
06月07日(日)※ 10:00-16:00	観察：移植した苗（移植後36日苗 vs. 移植後16日苗）の比較
	実習：除草体験（草取り、鎖除草、竹ぼうき除草、機械除草）
	座学：第8課程 栄養生長から生殖生長への転換期
07月04日(土) 10:00-16:00	観察：観察用稲の生育（葉齢、分けつ、など）と雑草の生育
	実習：幼穂と葉色の見方、畦の除草や畦から侵入する草の除草
	座学：第9課程 生殖生長
08月01日(土) 10:00-16:00	観察：出穂した稲、有効・無効分けつ茎の生育
	実習：観察用稲の出葉数、分けつ茎数、止め葉、などの調査
	第10課程：登熟
09月05日(土)※ 10:00-16:00	観察：収穫期の稲穂および田んぼ全体の状態
	見学・実習：コンバインによる稲刈り（実作業は別日程にて実施）、手刈り
	座学：第11課程 収穫と製品化
10月03日(土) 10:00-16:00	観察：稲刈り後の田んぼの様子
	実習：冬期湛水の準備作業（ミネラルと米ヌカの散布、等）
	座学：第12課程 田んぼ整備と冬期湛水
11月07日(土) 10:00-16:00	観察：冬期湛水田の生きもの様子と切り株（根と葉）
	見学：ライスセンター（粃の乾燥、粃摺り等の施設）の見学
	座学：第13課程 稲づくり日程計画、生きものを育む田んぼの稲づくりのまとめ
17:00-19:00	懇親会（自由参加） （飲食費別途、他のグループや次年度の塾生候補者も参加）
11月08日(日) 10:00-15:00	収穫祭：収穫祭の準備
	収穫祭：食事の部（新米の食べ比べ等） （飲食費別途、家族友人歓迎、持ち寄り歓迎）
	収穫祭：修了式の部（修了証の授与）